

人工授精作業におけるサケ親魚や精子・卵の放置時間が仔魚の浮上率に与える影響

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2024-08-06
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 高橋, 悟, 戸叶, 恒, 高橋, 史久, 伴, 真俊
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010478

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



人工授精作業におけるサケ親魚や精子・卵の放置 時間が仔魚の浮上率に与える影響

高橋 悟・戸叶 恒・高橋史久・伴 真俊

サケの人工授精作業において親魚、精子、卵、媒精卵、洗浄卵の放置時間と放置温度が浮上率に与える影響を調べた。放置時間は0～240分、温度条件に室温と氷冷を設けた。室温では浮上率が90%に低下する時間は雌親魚が135分、精子と卵がそれぞれ240分以上と39分、媒精卵と洗浄卵が39分と240分以上であった。雄親魚は室温や氷冷に関わらず0分時の生殖腔内温度が11℃以上の場合、浮上率が90%以下となる時間が著しく短くなった。また、精子以外では冷却することにより浮上率の低下を遅らせることができた。

水産技術, 2 (2), 91-98, 2010